



千代田区保護司会会報
令和7年2月20日
第95号
発行人 藤田 義一
編集人 広 報 部

各部からの報告

総務部

総務部長 縣 裕久

○区長との懇談会

日時 令和6年12月17日15時

場所 区役所会議室

出席者 25名

○新年懇親会

日時 令和7年1月31日18時

場所 東京大神宮マツヤサロン

出席者 38名

研修部

研修部長 小山 千恵

○宿泊研修

日時 令和6年11月6日～7日

内容 水戸刑務所の施設見学等

出席者 19名

幹事 万世橋・和泉橋地区

○第Ⅱ期定期研修

テーマ 個人情報保護・情報セキュリティについて

日時 令和6年11月19日14時

場所 かがやきプラザ会議室

○準定期研修

テーマ 再犯防止の基礎知識

日時 令和6年12月17日13時

場所 区役所会議室

○特別研修

テーマ 就労支援について

編集後記

令和3年度より広報部の担当となり4年が経ちました。当時はまだコロナ禍であり、最初に担当した広報誌88号は4ページでした。その次の89号は6ページとなり、90号からはコロナ禍以前と同じ8ページになりました。

90号作成の頃には、保護司会の行事も徐々にコロナ禍以前に近くなり、今回の95号では5年振りに宿泊研修の原稿を掲載することができました。

保護司会活動もコロナによる行動規制が無くなり、コロナ禍以前と同様の、或いはそれ以上の活動を行なった一年となりました。

今後も保護司会の一人として、保護観察をはじめ防犯活動・部会活動等、もう少しの間ですが、頑張っていこうと思っております。本年もよろしくお願いいたします。

広報部（順不同）
（尾添）

部長 尾添 章子

副部長 土島 豊裕 堤 美代子

井上 優美子 影山 純子 熊倉 章洋

瀬谷 達郎 堀田 健二 安田 郁子

発行人 千代田区保護司会会長 藤田 義一

編集人 千代田区保護司会広報部

連絡先 千代田区九段南一ノ二ノ一

千代田区役所福祉総務課厚生係
年2回・一四〇〇部発行

新年の挨拶

千代田区保護司会会長 藤田 義一

明けましておめでとうございます。

一昨年5月にコロナ感染症が5類感染症に引き下げられ、本年度は以前と同様な活動ができるようになりました。保護司会の活動はそれまでの空白期を越えて、地域活動は以前に戻り、社明運動も4か所での駅頭広報、3か所でのミニ集会、そして時期を10月に変えて2か所でのパレードと、以前と同じ活動が出来るようになりました。研修のHybrid化、報告書のH@（はあと）化も順調に進む中、以前との変化も明確に表れてきました。

私たち千代田区保護司会は清々しく新年を迎えることが出来ましたが、今後の活動への課題に向けて新たな決意を持って進まなければならないと、引き締められる年明けでもありました。

保護観察活動、地域活動ともに新たな工夫を創造し、これからの新しい保護司会活動を千代田区保護司会全員で、PLAN（計画）・DO（実行）・CHECK（評価）・ACTION（改善）のサイクルを回し、誰にでも理解され、応援して頂ける保護司会に出来るように頑張っていきたいと思っております。本年もよろしくお願いいたします。

で認知機能に障害が起きた高次脳機能障害があり、詳しい症状と状態を聞きました。また障がい者には社会的障壁となる物が、段差や狭い道路、音声や図説表示の欠如、心ない言葉や偏見などの障壁



当番区の港区で講演会が開催され、講師は大田区立障がい者総合サポートセンターA棟統括管理者の神作彩子氏、テーマは「障害について学び私たちが寄り添えることを考える」です。

開催日 令和6年11月6日
場所 高輪区民センター
神保町地区 山崎 久美子

第一ブロック合同研修会



をいいます。対応方法としては、抽象的な言葉や曖昧な表現、否定的な伝え方を避け、相手が分かるような言い方、絵や写真や文字で伝える事例を学びました。

『誰もが暮らしやすい共生社会を実現する為に障がい者へのいろいろな支援が必要』と結びました。とても勉強になった研修会でした。



■ 新人所感

令和6年10月29日に行われた靖国通りパレードに参加しました。お茶の水小学校に集合し、10時より「社会を明るくする運

和泉橋地区 岡田 圭子



動」の出発式が始まり、初参加の私は、まず、お茶の水小学校の生徒の皆さんの校舎のベランダからの応援、そして何よりマーチングバンドの素敵な演奏に癒され、そして、そして、出発の時の児童の皆さんが校門に集まりハイタッチでのお見送り！

子どもの「力」ってすごいなあ！感動です。社会を明るくする前に私の心が明るくなりました。

靖国通りでの行進も子どもたちの演奏の音に人々が集まり、皆様の手際良いティッシュ配りもさることながら、多くの方が関心を寄せてくださるよう見えました。地道な活動ではございますが、少しでも多くの方に知っていただければと思う一日でございました。

■ 麹町大通りパレード

岸 啓子

開催日 令和6年10月26日

秋深まるなか、今年で第74回目にあたる「社会を明るくする運動」のメイン行事でもある「第20回麹町大通りパレード」が約360名の参加を得て無事に実施されました。

出発に先立ち、麹町小学校の校庭で出発セレモニーが行われ、田村校長のご挨拶に続き「麹町小学校サンシャインキッズ」の澄みきった合唱が校庭を包みこみました。また社明の千代田区推進委員長を務める樋口区長、パレード中の安全にご尽力されている麹町警察の小林署長にもご挨拶をいただきました。

休憩後、警視庁パトロール隊に先導されて華麗なユニフォーム姿の「千修吹奏楽団」の演奏が響き渡る中、樋口区長をはじめ様々な協力団体や地域の皆様と共に麹町大通りを行進しました。

お忙しいところ、ご参加いただいた大勢の皆様には深く感謝申し上げます。

なお、開催が土曜日だったため、平日に比べ沿道の人出が少なく社明の広報の意義がやや薄れた気もしましたが、「安全安心まちづくり」のため、今後も社明運動を継続していきますのでご賛同いただけたら幸いです。

■ 靖国通りパレード

湯本 友美

開催日 令和6年10月29日

「第74回『社会を明るくする運動』安全・安心まちづくり靖国通りパレード」が開催されました。猛暑を避け、一昨年度から10月に行うようになりました。毎年7月を強化月間とする『社会を明るくする運動』の中心となる活動です。地域の皆様に更生保護の取組みを広くご理解いただけるよう実施しています。

千代田区長をはじめ更生保護女性会、民生・児童委員、町会、区議会等の各団体や保護者の皆様がご参加くださいました。様々



な立場から地域を見守っている、まさに『地域のチカラ』の結集です。お茶の水小学校では、新しい校舎で迎える初めての出発式です。伊藤栄司校長のご挨拶のあと、全校生徒・園児の元気な声に見送られ、5・6年生の堂々としたマーチングバンドを先頭に、今年度は明治大学のバトン・チアリーダー部も加わり、千代田区役所までの賑やかなパレードになりました。参加者が啓発用のティッシュを配り、沿道を行く人達も足を止めてパレードを見守ってくれていました。

最後になりましたが、パレードの開催に向けて、交通規制及び安全確保等、多大なるご協力をいただいた神田警察署の皆様にご感謝申し上げます。



来賓の方々のご挨拶の後、地区順に意見書の発表および質問への回答が行われました。いずれの地区も所定の発表時間をオーバーするほどの熱のこもった発表となり、現状を改善していきたいという各地区の強い思いが感じられました。運動への知名度の低さが共通の課題であり、大型デジタル掲示板を利用した広報活動や、地域や学校への丁寧な趣旨説明が対策として取り上げられていました。広報活動に関する具体的な質問が多く、他地区の回答から多くを学ばせていただきました。



今年度の協議題は、保護司会でも力を入れて継続・推進している「社会を明るくする運動」について考える」でした。当会では協議員と事務局で全5回の打ち合わせを行い、意見書と質疑応答の内容をまとめました。

開催日 令和6年10月4日
場所 如水会館

小林 加乃

第一ブロック保護司

組織運営連絡協議会

宿泊研修

開催日 令和6年11月6日～7日
場所 水戸刑務所 縣 裕久

今回5年ぶりの宿泊研修ということで、施設は水戸刑務所、宿泊場所は水戸駅の近くとしました。

保護司19名、区役所から3名の22名が参加し、平日にもかかわらず人数も例年とあまり変わりませんでした。午前中は大洗磯前神社を見学し、那珂湊で刺身定食の昼食後、水戸刑務所へ伺いました。

到着後、会議室で施設の説明を受けたのち、受刑者が印刷・金属・木工など多岐にわたる作業をしている中を見学しました。特に



現・水戸刑務所にて

た施設の安全と秩序を維持する必要がある、常に監視、警備を行い、逃走、自殺、火災その他の事故を防止することに努めているとのことでした。

その後弘道館を見学し、ホテルチェックイン後に、「元祖あんこう鍋山翠」にて夕食。翌日には日本三名園の一つ「偕楽園」を散策、県立歴史館、JAXA筑波宇宙センターを見学後、一同出発地の区役所に戻りました。



JAXA筑波宇宙センターにて



また東京保護観察所より都内各地区の社明活動内容の一覧を資料として配付いただき、大変参考になりました。杉山所長からの講評も含め、来年度の社明運動に活かしていきたいと思っています。

千代田区が当番区でしたので、事務局に様々な対応をいただき、感謝申し上げます。

区長と保護司会との懇談会

開催日 令和6年12月17日
場所 千代田区役所会議室

俣野 幸昭

今年も無事に樋口区長との懇談会が開催出来た事に感謝です。始めに、一般の滋賀県に於ける保護司の事件を踏まえて、樋口区長より「保護司の皆様へ」を添って参ります。さらに保護司活動に対して、ご家族にご安心して頂ける様な施策をサポート致します。」との心強いお言葉があり質疑に入りました。

数問の質問がありました。中でもSDGsの概念を実現すべく、「ZERO WASTE」を目指し



準定例研修

開催日 令和6年12月17日
場所 千代田区役所会議室 岸 啓子

現役の保護司で東京都の犯罪お悩み相談員も兼ねておられる小林良子氏を講師にお迎えし、研修を行いました。

近年の刑法犯罪認知件数はピーク時の約5分の1に減少しているにもかかわらず、再犯者率は約35%から約48%へ上昇しています。これにより再犯者を減少させることは重要な課題であることが分かります。

刑事事件を起こした人(年間約80万人)はどこかの時点で社会、地域に戻ってきます。その時、立ち直りを決意した人を受け入れ、家族・行政・地域の方が適切な支援を行うことは「安心安全なまちづくり」にも繋がります。

過去に放火事件を起こし逮捕された高齢者が「寒くて空腹で刑務所に戻りたかった」と発言したとの実話もあります。本当に困った時に人には言いづらい「助けて」といえる社会、孤立させず寄り添う姿勢が大切です。このため、東京都では「再犯防止推進計画」を策定し「犯罪お悩みなんでも相談事務局」も開設され、様々な支援、相談に対応しています。本人、関係者の方々にも活用していただき、少しでも犯罪の減少に繋がることを願っています。

区内のゴミ問題に関しての質疑を重点的にご報告致します。区長は現場主義を実践され、年に一度ゴミ収集車に同乗されて、区内のゴミの状況を実体験されています。区内のゴミ問題解決のために数々の施策を行っており、ゴミ削減に対して「決して諦めない」を信条に区民の規範意識の向上を目指して日夜活動をされており。今般、その一端をお聞きする事ができ、心を新たにゴミ問題に関心を持つ意味を確認できました。



■ 麹町警察署との懇談会

植田 浩敏

開催日 令和6年11月29日
場所 麹町警察署

昨年同様、民生児童委員協議会の赤城副会長にもご参加いただき、藤田会長を含め保護司会から7名、麹町警察署からは鎌田生活安全課長をはじめ3名が参加して開催されました。残念ながら小林署長は、臨時国会の対応のため急遽欠席となりました。

まず、藤田会長より社明パレードの警備協力に對してお礼を申し上げ、次回も同様の協力を要請申し上げます。

次に鎌田課長より、総理の所信表明演説でも取り上げられた闇バイトの警察庁の資料を使った説明と、管内の状況についてご説明いただきました。

最後に、赤城副会長より普段行っている学校との話し合いだけでなく、違う見解も聞くことができ貴重な時間でしたとお話しいただきました。



■ 神田警察署との懇談会

土島 豊裕

開催日 令和6年11月22日
場所 神田警察署

青少年の非行防止や安全・安心な地域の実現に向け、神田警察小川署長、生活安全課少年係担当者、お茶の水小学校伊藤校長、神田一橋中学校・千代田小学校各校生活指導主任の出席をいただき、神保町・神田公園地区保護司との連絡協議会が開催されました。

小川署長より、非行防止対策が最重要課題であり早い段階での対策を行っており、少年係担当者から増加傾向である少年非行の状況と、「とくりゆう」に對する啓発活動を強化しているとの説明をいただきました。

伊藤校長と各校生活指導主任より不登校・いじめの状況について説明がありました。不登校への対応として児童・生徒を「スペシャルサポートルーム」で受け入れ、いじめの対策としては「人権」に對する感覚を大切にする指導をしており、効果が上がっているとのお話を伺いました。

保護司会より社



■ 新任の挨拶

松川 京子

大きな問題になっている2つの犯罪について、詳しくお話をしていたいただき大変有意義な懇談会になりました。



この度、新たに保護司として任命され、千代田区に配属されました松川京子でございます。私がこの役職に就くにあたり、保護司の責務の重要性と、その責任の重さを深く感じております。地域社会の一員として、また、一人の人間として、真摯にこの役割に取り組んで参る所存です。ご活躍されてい

■ 新任の挨拶

山崎 充彦



はじめまして。令和6年12月22日付で保護司に委嘱されました山崎充彦と申します。同年12月23日には法務省東京保護観察所にて辞令伝達式に出席し、大変身の引き締まる思いで辞令を拝命いたしました。

私は小学校、中学校でのPTA活動を通して、地域の皆様はじめ多くの方々と交流を深めることができました。この縁を大切にし、微力ながらも地域のために活動させていただきます。

保護司としての活動や役割について、諸先輩方をはじめ、地域の皆様にご指導・ご鞭撻賜り、学びながら励んで参ります。何卒宜しくお願い申し上げます。

明パレード・ミニ集会の御礼を申し上げ、各保護司より保護観察の状況と日頃の活動報告をし、その後意見交換をしました。さらなる地域の連携と情報共有が不可欠であると確認出来ました。

■ 万世橋警察署との懇談会

唐澤 俊一郎

開催日 令和6年11月20日
場所 万世橋警察署

本年も万世橋警察署と保護司会の懇談会が、万世橋警察署から鵜飼署長、正木生活安全課長、そして少年係から2名、保護司会から藤田会長以下13名で開かれました。初めに藤田会長、鵜飼署長からご挨拶を頂き、その中で鵜飼署長から、最近大きく問題になっている「闇バイト」のお話をいただきました。

闇バイトは社会経験の少ない青少年などを捨て駒のように使う悪質な犯罪である。青少年たちに闇バイトの恐ろしさを強く啓発していかねばならない。もし巻き込まれてしまったらすぐに警察に助けを求めてほしいとの事でした。

引き続き保護司会活動状況、万世橋警察署管内の情勢についての懇談がありました。正木課長からは「特殊詐欺」のお話をいただきました。最近では、地方の警察署員を名乗り「あなたは被疑者になっている」と嘘の話をし、金銭を振り込ませる

■ 令和6年度東京更生保護事業関係者顕彰式典

春の叙勲 瑞宝双光章

法務大臣表彰 小笠原 正 氏

堀田 健二 氏

関東地方更生保護委員会委員長表彰 高柳 葉子 氏

東京保護観察所長表彰 熊倉 章洋 氏

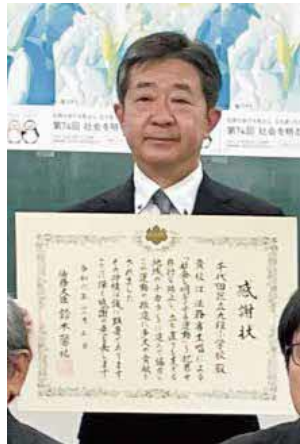
東京都保護司会連合会会長表彰 西村 京子 氏
神谷 英亮 氏

東京保護観察所長感謝状（家族功労） 影山 ます枝 氏

■ 第74回「社会を明るくする運動」における民間協力者感謝状受賞

「社会を明るくする運動」において協力顕著な団体に対し感謝状が贈呈されました。

○法務大臣感謝状 千代田区立九段小学校



難波 明夫 校長